

5月「19の日」行動

スタンディングアピールに参加しよう！

菅首相は命・暮らしを優先し、改憲策動をやめよ！
命を守れないオリンピックは断念しよう！

コロナの感染拡大が広がり、その拡大は新たな様相を見せています。政府・与党は、悲鳴があがる命と暮らし、雇用や生業を守る政治よりも、「GOTO再開」や「オリンピック開催」に固執し、二階自民党幹事長は、「恐れとったら何もできない」・内閣官房参与の高橋洋一氏はツイッターで「日本はこの程度の『さざ波』。これで五輪中止とかいうと笑笑」と投稿し、あまりにも無責任な発言が飛び出す始末です。安心して休業や時短を支える政治こそが求められるときに、デジタル化の強行や社会保障の大後退を強行し、米国とは安保体制のさらなる強化をすすめ、憲法審査会での国民投票法の強行採決など、どさくさに紛れて悪政を進め、憲法の改悪をねらっています。

一方で「憲法を変えるのではなく、政治をかえよう」「コロナ対策に全力を尽くせ」の声が広がっています。憲法を守って生かす新しい政治社会をめざしましょう。国民の手に政治を取り戻すために、草の根から「野党は共闘」の声を広げましょう。



とき **5月19日（水）**

午後 6時30分～ 街頭演説

デモは中止します（スタンディングアピールのみ）

マスクの着用を！プラカードなどでアピールを！

ところ 京都市役所前（御池通側歩道）

呼びかけ 戦争をさせない京都1000人委員会